

安心、安全、未来に残さない。

唯一無二の **完全無害化×再資源化**



PFAS 処理

ピーファス

～PFASを最小リスクまで分解、PFAS含有廃棄物を「鉄」に還す～

※PFASを環境省の技術基準として定める最小リスクまで分解します

「永遠の化学物質」と呼ばれるPFAS。その強固な結合を断ち切り、無害化から「製鉄ペレット」へのリサイクルまでを完結させる唯一無二のプロセス。それが光和精鉱の強みです。

唯一無二
の
プロセス

埋め立て処分ゼロ

0

二次汚染ゼロ

0

埋めない選択・リサイクルが、排出元責任を完結

● こんなPFAS廃棄物にお困りではありませんか？ ●

水道局・半導体メーカー様

使用済み活性炭 水処理設備で使用し、PFASを吸着したもの。(大量処理に対応！)

自衛隊・航空・インフラ・不動産(立体駐車場)関連企業様

泡消火薬剤 原液、洗浄水などの液体物。

**金属配管
薬剤タンク** 泡消火設備に使用していた機材。
(PFASは洗っても落ちないため、通常の金属スクラップではなく適正処理が必要です)

土地開発・建設・防衛関連企業様

PFAS汚染土壌 米軍基地跡地などから発生する大規模な汚染土壌の処理。

⊗ 光和精鉱株式会社

PFASとは？

自然界でほぼ分解されず「永遠の化学物質 (Forever Chemicals)」と呼ばれるPFAS。人体や環境への蓄積性・毒性が指摘され、世界規模で製造・使用の全面規制が急ピッチで進んでいます。

企業の責任

過去に使用した設備や薬剤、浄化に使用したフィルターの「処理の行き場」と「排出事業者としての責任」が、今まさに問われています。



なぜ今、対策が必要なの？

2026年4月 水質基準改正！

世界的な規制強化に伴い、日本国内でも法整備が加速しています。

国交省・環境省による水道水の水質基準の厳格化

2026年4月より「PFOS+PFOA 合計50ng/L」が正式基準として適用。



【課題】活性炭の限界

水道局や水処理施設では、基準をクリアするための「活性炭の交換頻度増加」が不可避に。同時に、使用済み活性炭の「処理後の責任」が大きな課題となっています。



独自のプロセス 【光和無害化モデル】

独自の「塩化揮発法」により、PFASをさらに熱分解・無害化し「100%の再資源化」と「大量処理」を同時に実現

強み
1

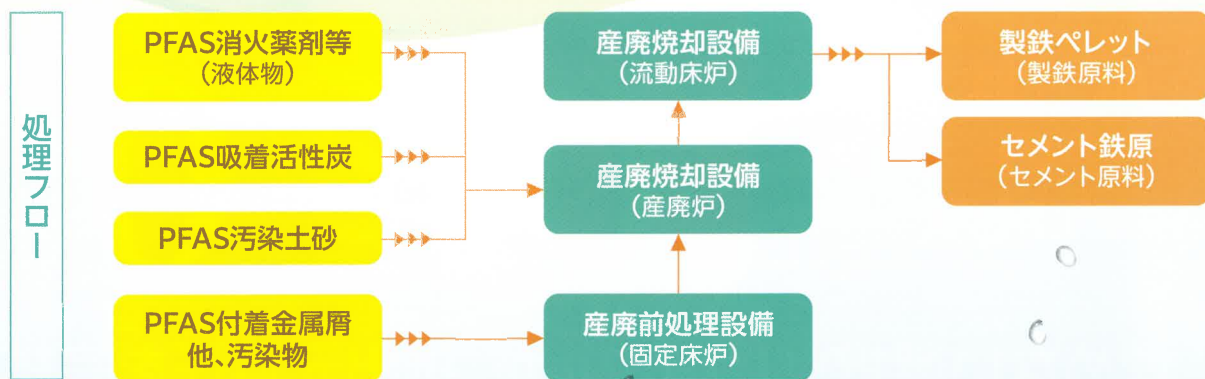
圧倒的な「大量処理」が可能

全量を「鉄鋼原料」「セメント原料(セメント鉄原)」としてリサイクルするため、熱灼減量の制約が一切なく、大量の使用済み活性炭などの不燃物も一括で引き受け可能。「大量処理」を実現します。

強み
2

唯一無二の「完全無害化」「再資源化」

独自の塩化揮発法により、PFASを再分解。残った不燃物(使用済み活性炭など)は全量「鉄鋼原料」「セメント原料」として生まれ変わります。埋め立てる燃え殻が一切出ないため、「100%の再資源化」を実現します。



光和精鋳株式会社

日本製鉄株式会社(50%)・DOWAエコシステム株式会社(50%)出資企業

本社 〒804-0002
北九州市戸畑区大字中原字先の浜46番93
【日本製鉄㈱九州製鉄所八幡地区構内】
TEL 093-872-5155(代) / FAX 093-884-3500

九州営業所 〒804-0001
北九州市戸畑区飛幡町2番2号(飛幡ビル2F)
TEL 093-872-2100 / FAX 093-884-0666

東京営業所 〒103-0027
東京都中央区日本橋2丁目1番20号
【Dear 日本橋タワー5F】
TEL 03-6262-7972 FAX 03-6262-7973

関西営業所 〒533-0031
大阪市東淀川区西淡路1丁目1番32号
【新大阪アースビル 2F 203号室】
TEL 06-6990-8101 FAX 06-6990-8102

ホームページアドレス <https://kowa-seiko.co.jp>
フリーダイヤル 0120-582-380

